

## 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業実施報告書

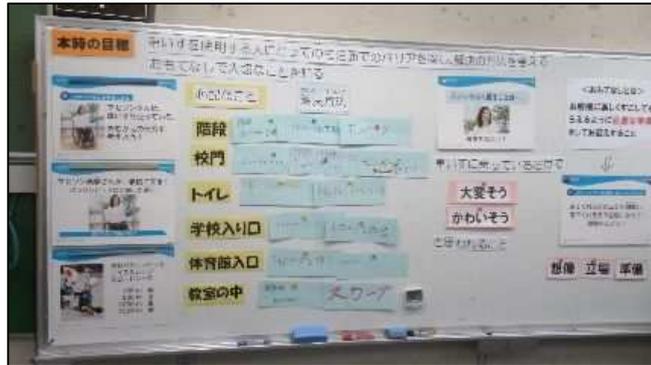
- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都市 】

学校名【 京都市立鳴滝総合支援学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ・Ⅴ
2 実施対象者 (学年・人数)	高等部 普通科 1名 生活産業科 24名 小学部 1名 計26名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (                    ) ② 行事名 (                    ) ③ その他 ( 総合的な探究の時間 ) (2) 地域における活動 ① イベント名 (                    ) ② その他 (                    )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活産業科の生徒が、普通科在籍の車いすの生徒と一緒に活動する中、相手の立場に立って考え理解を深める機会とする。</li> <li>・実際にポッチャをされている方々と競技を行うことで、パラリンピック競技への関心を高め、共生社会への意識を育む。</li> <li>・パラリンピック競技を体験することで、2020年に行われるオリンピック・パラリンピックを身近に感じ、関心を持つ。</li> </ul>
5 取組内容	<p>&lt;事前学習&gt;</p> <p>①パラリンピック競技について知ろう（3時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NHKの「ハートネットTV パラマニア」番組などを活用し、「パラリンピックとは」「パラリンピックで行われる競技」について学習した。</li> </ul> <p>②パラリンピック競技についての調べ学習（4時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一競技を選び、「競技内容・ルール・クイズ」について調べ、画用紙にまとめ、学校祭文化の部で発表した。</li> </ul>
	

- ③「ボッチャ」とはどんな競技か知ろう（2時間）
  - ・映像資料などを活用し、ボッチャについての学習を行った。
- ④ボッチャの練習（3時間）
  - ・ルールを確認しながら、プレーヤー・審判に分かれて練習を行った。
- ⑤「パラリンピアンが学校に来るとしたら」（1時間）
  - ・国際パラリンピック委員会公認教材の「I'm POSSIBLE」の映像や掲示物を活用し、選手の方を迎えるための事前学習を行った。



<当日>

ボッチャミニ大会（2時間）

- ・「伊丹ボッチャクラブの原田氏・関戸氏・介助の米谷氏」をお迎えしボッチャ大会を行った。
- ・普通科の生徒2名と生活産業科の生徒24名が参加した。

- ①初めに選手2人によるゲーム
- ②生徒たちによるゲーム
- ③生徒の中で一番強かったチームと選手2人の対戦



<事後>

- ・振返り・お礼状書き（1時間）

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活産業科の生徒と、普通科在籍の車いすの生徒と一緒に活動することで、交流の場となった。</li> <li>直接、投げ方のアドバイスをしていただき、「上手にできた」と喜び、競技に関する関心がより高まった生徒もいた。</li> </ul> <p>&lt;以下生徒の感想より&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何度かボッチャの練習をしたことはありましたが、選手の人のプレーを見るのは初めてで、迫りに圧倒されました。試合中は関戸さんに投げ方をアドバイスされ、なんとかジャックボールの近くに玉を持っていくことができうれしかったです。</li> <li>試合の前にジャックボールを投げるとき、原田さんが「このへんに投げたらいい」とアドバイスをくれました。私は、このボッチャ大会を終えてボッチャってこんなに楽しいスポーツなんだと思いました。</li> <li>私は原田さん・関戸さんのプレーを見て、原田さんの投球時の上半身を使い投げていること、関戸さんの投球の調整に集中しているのがとても記憶に残りました。3クラスでは、2位になりましたが楽しんでできたのでよかったです。</li> <li>決勝戦で本当に関戸さん・原田さんと戦えた時は、とてもうれしかったです。結果は完敗だったけど、選手の技を間近で見られてよかったし、ジャックボールにどうやって近づけるかの力かげんなどを瞬時に計算できるのは、とてもすごいと思いました。また、このような機会がありましたら、試合ができればいいなと思います。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通科の車いすの生徒も一緒に参加できる競技として「ボッチャ」を行った。</li> <li>事前学習として、ボッチャの練習時間を3時間設け、ルールや競技方法の確認をしながらゲームを行った。事前に自分たちが経験していたため、選手の方の技を目の前で見たときに、その素晴らしさがよくわかったようである。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校に来ていただける「ボッチャ選手」がなかなか見つからなかった。遠く伊丹市の方に連絡を取り、来ていただくことになった。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度以降の実施については未定。</li> <li>現 生活産業科 1 年生は、来年度の修学旅行でパラリンピックの参観を計画している。今後、修学旅行に向けての事前学習に発展させていく予定。</li> </ul>